

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	CA 技術小委員会	主 査 名：前田 純一郎 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (建築生産運営委員会)	委員長名：梶田 佳寛 主 査 名：三根 直人
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築の自動化ロボット化日韓共同シンポジウム (2009 年 7 月 16、17 日開催) ・ 第 18 回建築の自動化技術シンポジウムの企画・開催。(2010 年 1 月 28 日) ・ 建設ロボットフォーラムの企画・開催 (土木学会、日本ロボット学会など 6 学協会と共催：2009 年 9 月 10 日開催) 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	新井一彦(マネジメントシステム評価センター)、井上文宏(大林組)、椎名國雄(東海大学)、 玉木欽也(青山学院大学)、蔡成浩(鹿島)、寺井達夫(千葉工業大学)、星野春夫(竹中工務店)、 前田純一郎(清水建設)、眞方山美穂(国土交通省)、三浦延恭(国士舘大学)、三輪明広 (戸田建設)、室英治(芝浦工業大学)、森正人(大成建設)、吉武亮二(フジタ) 14 名 五十音順	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名称： 目 的：	
2009 年度予算	76,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む)
刊行物	1.
講習会	1. 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 18 回建築の自動化技術シンポジウム (1 月 28 日開催。参加者数 73 名) シンポジウム予稿集作成
	2. 参加者数 名
大会研究集会	1. 参加者数 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 第 18 回建築の自動化技術シンポジウムを、2010 年 1 月 28 日に開催した。「現場の計測システム」、「自動化システム・工法開発」、「自動化と情報化の融合」、「自動化・ロボット化の要素技術」の 4 つのセッションで、計 12 編の研究発表を行った。また、大林組技術研究所長の汐川孝氏、及び、北海道大学の田中孝之准教授による特別講演、さらに委員会活動として、次世代ロボット技術に関するワーキンググループ調査研究、及び日韓共同で実施したシンポジウムについて、それぞれ報告が行われた。研究発表では、現場における計測システム、高層構造物の解体、有害物除去などの開発事例の発表があり、また情報技術との融合、画像処理やアシスト技術などの要素研究の報告も含め活発な討議が行われた。 2. 2009 年 7 月 16、17 日に韓国のソウルにおいて、韓国の大韓建築学会と連携して、日韓共同シンポジウムを開催した。双方からキーノート講演、研究発表を行い、日韓の多数の参加者により活発な討議を行い、交流を深めることができた。 3. 2009 年 9 月に建設ロボットフォーラムを、他学会・協会と共同で開催した。
委員会活動の問題点・課題	従来の「建築施工ロボットシンポジウム」を、「建築の自動化技術シンポジウム」と名称変更し、機械化・自動化を含む広い領域を対象として開催した。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。